



学級や全校がこころを一つに！ 文化祭

令和元年10月26日（土）、朝7時に避難所が閉じられるような悪天候の中、多数のご来賓や保護者、地域の皆様のご来場のもと、吉里吉里学園中学部文化祭が行なわれました。文化祭は、今年度の生徒たちの学習の成果や生徒会の取り組みを地域に発信する目的で行なっています。生徒たちは、今年度の文化祭スローガンを『皆心』とし、文化祭成功を目標に、「学級や全校が心をつなげて創り上げる演劇や合唱、そしてこれまでの学習の成果を吉里中の文化として披露できる場にしたい」を目指して取り組んできました。開会式では、ステージ発表の見所や教室展示で工夫したところを発表した後、全校生徒で取り組んだ壁画の除幕式を行ないました。今年の壁画は、運動会での行進や校庭の引き渡し式のはじめの一步を題材にして全体を構成してあります。



ステージ発表

弁論「わたしの主張」発表



「令和元年度 わたしの主張釜石地区大会」に本学園代表として参加した8年生越田久美子さんが、『私の誇り』と題し、発表しました。「地域の良さを見直す活動を通して地域が自分にとっての誇りである。」進級と同時に隣の学校へ仲間達が転校していく中、地域の良さを見つめ直し、取り組んでいく活動の中で自分に何ができるか、何を伝えられるか、地域の持つ素晴らしさ、その思いを力強く発表しました。

音楽部発表

音楽部の部員は今年度も3名ととても少ないですが、これまで、合同チームや地区の連合合奏での発表を経て、音楽の楽しさや演奏することの喜びを伝えようと一生懸命に練習をしてきました。その思いが十分に伝わった演奏でした。



合唱コンクール

どの学年も歌詞の意味を理解し、ことばを大切に表情豊かな合唱、学級が一つになることを目指して発表しました。

課題曲「ほらね」 7年自由曲「COSMOS」

8年自由曲「手紙」 9年自由曲「YELL」



審査結果

金賞 7年生・8年生・9年生 最優秀賞 9年生
指揮者賞 木下 瑠碧（9年生）山崎瑚々（8年生）



演劇

題名『夢屋』

中学3年の佐千子は、同年代の多くの人がそうであるように、その生活に息苦しさを感じていた。校則、親、進路。自由を望む佐千子の前に、夢屋と名乗る男が現れ、彼女を自由の国へと誘う。自由の国で過ごす時間や、そこで出会う人たちとの関りから、彼女がする選択とは…



作品展示

